**表題をここに記入**

**―副題があればここに記入―**

**Abstract**

表題・副題から1行空けて，英語で論文の要旨を書いてください。必ずネイティブによるチェックを受けてください。

**Key words:** 英語要旨から1行空けて，英語で論文のキーワード3～5個挙げてください。

**英語要旨の和訳**

Key wordsから1行空けて，英語要旨の和訳を書いてください。要旨と本文の間でページを改めてください。

これは原稿・要旨ファイルの説明兼書式表示のための文章ですので，適宜書き換えてご利用ください。また，説明は概要ですので，本誌の執筆投稿規程および日本心理学会編 の“執筆・投稿の手びき”（最新版）もご参照ください。原稿・要旨ファイルは査読に用いるものですので，著者情報を含まないよう留意してください。

この書式に則して原稿・要旨ファイルを作成すると，本誌の刷り上がり10ページ（原著・展望・資料の上限）はファイル30ページ，刷り上がり6ページ（短報の上限）はファイル18ページに相当します。上限ページ数を超過したファイルは，原則として受け付けないので注意してください。

なお，この書式は和文投稿用です。英文での投稿の場合は，ダブルスペースで1ページ200～230単語を目安に原稿・要旨ファイルを作成してください。

ページを改めて本文の導入を書き始めてください。

改行後の新たな段落はインデントで1文字分下げてください。読点は全角カンマ（，）で，句点は通常の和文全角句点（。）を用いてください。但し，引用文献などにおける英文中でのカンマは半角を用いてください（半角カンマ後には半角スペース）。たとえば，（Wundt, 1891）などです。なお，著者が3～5名の引用文献は，初出の際には全著者名を書き，2回目以後は第1著者名だけを書いて，残る著者名は「他」や“et al.”と略記してください。著者が6名以上の引用文献は，初出の際も2回目以後も，第1著者名だけを書いて，残る著者名は「他」や“et al.”と略記してください。

**方法**

　方法，結果，考察，引用文献の見出しは1行空けて太字で明示し，センタリングしてください。見出しに続く文は次の行から書き始めてください。段落開始の1文字インデントは共通です。

「方法」では，参加者，手続きなどの小区分を用い，書き方は日本心理学会編 の“執筆・投稿の手びき”（最新版）にならってください。

倫理審査を受けて承認された研究の場合，その旨を方法に記載してください。ただし，査読を匿名でおこなうため，倫理審査をおこなった委員会などの名称は原稿・要旨ファイルでは伏してください（論文が採択され，最終原稿を提出する際に名称を明記してもらいます）。

倫理審査を受けていない研究については，審査を受けなかった理由，および，本研究が倫理的に問題ないものであること（インフォームドコンセントが適切におこなわれていたこと，自由意思による研究参加・辞退が保証されていたこと，心身に危害を加える手続きがなかったこと，研究成果の発表について参加者から同意が得られていることなど）を方法に明記してください。

**結果**

　図表は原稿・要旨ファイルの末に，1点ずつ独立したページに記載してください。図表の論文中でのおおよその位置については，以下のように四角で囲み，1行とってセンタリングして示してください。

Figure 1

検定結果などの英数字は半角で記してください。たとえば，（*F*(2, 5) = 7.65, *p* < .01）などです。なお，この例で，*F*値の両脇のカッコは全角であることや，英数字の後に半角スペースが用いられていることなどにも注意してください。

**考察**

**小見出し**

わかりやすさのため，適宜小見出しをつけてもかまいません（考察に限りません）。その場合，小見出しは前段落から1行空けて，1行とってください。このとき，小見出しは1字下げずに太字で書いてください。続く文は，改行して1文字下げて書き始めてください。

**引用文献**

引用文献の書き方の詳細は，日本心理学会編 の“執筆・投稿の手びき”（最新版）にならってください。以下に例を示します。

Aune, R. K., Metts, S., & Hubbard, A. S. (1998). Managing the outcomes discovered deception. *The Journal of Social Psychology*, *138*, 677-689.

Ekman, P., & Frank, M. G. (1993). Lies that fail. In M. Lewis, & C. Saarni. (Eds.), *Lying and deception in everyday life* (pp.184-199). New York, NY: Guilford Press.

高橋一郎・佐々木幸三 (2000). 天候による気分の変動―森林浴との関連について　気象心理学研究, *9*, 56-57.

**脚注**

1　脚注を加える場合は，引用文献の後に記してください。本文中における脚注番号は1のように上付き文字にしてください。ただし，脚注の使用は最小限にしてください。

2　脚注の内容は，本文中に振った番号を文頭に置き，全角スペース1つを空けて書き始めてください。

3　アラビア数字は基本的に全て半角とします。

4　謝辞は脚注で表示してください。ただし，謝辞を含め，著者が特定できる情報は査読中の原稿・要旨ファイルでは伏してください。（採択が決定した後の最終原稿の提出時に記載してください。）

5　図表は脚注（なければ引用文献）の後に，ページを改めて載せてください。



Figure 1. 図表は脚注（なければ引用文献）の後に，ページを改めて載せてください。1点につき1ページを使用してください（つまり，例えば，Figure 1とFigure 2の間ではページを改めてください。）図表の作成法の詳細は，日本心理学会編 の“執筆・投稿の手びき”（最新版）にならってください。